

「むくげ通信 291 号、2018.11.25」

随想「拙著 韓国での出版計画」(2)

山根 俊郎

今までの経緯

私は、以前「むくげ通信 284 号」(2017 年 9 月 24 日発行) で随想「拙著 韓国での出版計画」を書いた。

私が昔執筆した『カラスよ 屍を見て啼くな 朝鮮の人民解放歌謡』(1990 年 長徳社 [今は廃業] 発行 4500 円) という本は、1948 年 7 月に在日本朝鮮民主青年同盟 東京本部文化部が編集発行した『人民解放歌謡集』を復刻・解説したものである。この本を山根が韓国語に翻訳して韓国で出版しようという計画である。2016 年 12 月 1 日東京に行き、K.A.C (コリアーアーツセンター) 音楽プロデューサーの李喆雨 (リ・チョルウ/弓哲雨) さんの紹介で韓国の大手学術書専門出版社の「民俗苑」洪鐘和 (ホン・ジョンファ/弓鐘和) 社長に会い話がまとまった。

なかなか進まない翻訳作業

当初は、山根が 2017 年 5 月末までに翻訳を完成する予定であったが、果たせず「民俗苑」に謝り 2017 年 8 月末まで脱稿延期の承諾を得た。総 391 ページ 2017 年 6 月 15 日 116 ページ完成 第 1 部『人民解放歌謡集』を復刻と解説 完成。1 日に 3-4 ページ進捗。7 月 5 日 147 ページ歌の分類完成。第 1 部完成。8 月 8 日ワープロのフロッピーを「ダビングスタジオ 大阪梅田支店」で PC の USB に焼付けて受け取る。日本語を打つ手間が省かれスピードアップできた。8 月 11 日 216 ページ完成 第 2 部第 1 章南朝鮮の「解放歌謡」完成。約束の 8 月末にも未完成。「民俗苑」に連絡せず。9 月 23 日現在の翻訳作業は、総 391 ページの内 249 ページ。63% しか進捗していない。挫折の危機！12 月 23 日 287 ページ完成 第 2 章北朝鮮の歌完成。第 3 章在日朝鮮人の「解放歌謡」と文化運動開始。2018 年 1 月 18 日、朝鮮語版『解放新聞』が載っている「朝鮮問題資料叢書〈補巻〉解放後の在日朝鮮人運動」(1984 年) の中古本をアマゾンで 5000 円にて購入、翻訳作業が急ピッチに進む。

遂に翻訳作業完成！

苦節 1 年 4 ヶ月を経て、2018 年 3 月 28 日 総 391 ページが完成した！！！PM10:00 メールに添付して「民俗苑」に送付した。当初の 6 ヶ月間、延長して 9 ヶ月間を大きく遅れてしまった。

翌 3 月 29 日に民俗苑の担当者からメールをいただいた。「朝鮮人民解放歌」の原稿を受け取りました。現在、校正作業を行っていますが、本書に載せられた図版資料 (写真、絵画、楽譜) を送ってください」と依頼された。結局、資料の原本を 3 月 31 日に郵送した。その後、民俗苑から何の連絡もなかった。私は、原稿を遅く送ったので気後れしていた。



良かった副作用

翻訳作業のために良かった点もあった。

1. 昔のワープロのフロッピー (1988 年 - 2003 年分) 多数を PC 用 CD-R に焼き付けた事。

2. 2017 年 6 月末で神戸学生青年センターの韓国語講座・昼会話を辞めた事。作文の宿題が多くしんどかった。(2013 年 1 月から 4 年 6 ヶ月お世話になった)

3. 2014 年 4 月から尼崎の公民館で教えていたグループ「韓国語ハナ」を 2017 年 4 月～8 月末まで休めた事。うるさ型のベテラン会員が代理講師をしたが、私が復帰すると燃え尽きて辞められた。会員が減ったため 2018 年 3 月にキャンペーン講座を開き会員を 12 名まで盛り返した。皆ビギナーなので教え甲斐がある。

催促！

時々「民俗苑」の HP で新刊案内を見ていたが一向に私の本は発売されなかった。

10 月 10 日に洪キウォン (弓基원) 会長 (享年 86 歳) がお亡くなりになられた。



念のために 11 月 19 日「民俗苑」に「私の本の出版はどうなってますか？」とメールで尋ねた。すると担当者 (たぶん女性) からの返事。「先生の原稿‘朝鮮人民解放歌’は、故洪キウォン会長校正・校閲を進行中でしたが、担当されていた私どもの編集主幹先生の突然の別世 (=逝去) により中断されている状態です。もう少し確認する事項があり時間が要求されています。了解していただくようにお願いします」という表現から洪鐘和と社長ではなく、父親の洪キウォン会長みずから校正作業をしていたようである。途中で止まっていたらいつから洪社長が再開してくれるかな？じっくり待つしかない。

(終)